

事務事業名	掛合総合センター庁舎管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	自治振興課	
総 計 画 体 系	政策名	〈 I 〉みんなで築くまち〈 協働・行政経営 〉	所属G	自治振興グループ	課長名	神田直人
	施策名	(05)時代にあった行政サービスの実現	担当者名	竹田 強	電話番号	0854-62-0300
	目的 対 象	行政機能	意 図	公平で効率的なサービスを提供する。	(内線)	4506
	基本事業名	(016)公共施設の適正管理	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 3 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 0 2	市有施設等管理事業 庁舎管理事業	
目的 対 象	行政機能	意 図	公共施設を適正に管理する。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 16 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
掛合総合センター施設(本館、別館、書庫、車庫及び敷地)の維持、修繕及び管理、防犯灯管理業務

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・施設・設備管理委託業務等の契約事務 ・維持管理対応、支払事務 ・修繕工事等への対応	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 28年度実績と同様				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	施設の数	棟	4	4	4	4
イ	委託件数	件	7	8	8	8
ウ	職員数(臨時職員も含む)	人	20	19	12	12
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
	・センター施設(本館、別館、書庫、車庫) ・雲南市民		ア	施設の数	棟	4	4	4	4
			イ	人口(推計人口)	人	39,472	39,032	38,506	38,477
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
	・事務に支障が生じないために維持する ・各種施設設備の維持及びメンテナンスをする ・維持管理経費の節減を図る		ア	維持管理経費	千円	11,420	10,997	10,345	11,071
			イ	要修繕箇所	件	6	3	4	3
		ウ	修繕済箇所	件	6	3	4	3	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
消耗品費等112千円、燃料費174千円、光熱水費1,698千円、修繕費108千円、通信料37千円、委託料(施設・設備管理)7,441千円、使用料賃借料665千円、備品購入費110千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	11,420	10,997	10,345	11,071
		事業費計 (A)	千円	11,420	10,997	10,345	11,071
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	1	2	
		延べ業務時間	時間	107	107	107	
		人件費計 (B)	千円	416	419	424	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	11,836	11,416	10,769	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・職員が年々少なくなり庁舎執務スペースが広く維持管理については非効率的(特に冷暖房)といえる。また、現庁舎は昭和38年の建築であり施設についても雨漏り等老朽化が進んでいる。 ・修繕にかかる経費が毎年少なからず発生している現状である。	・庁舎1階フロア清掃(トイレ含む)を委託から週1回勤務者で実施とした。 ・光熱水費節減のためエアコン使用を極力避け、冬はストーブ等を使用。 ・軽微修繕を箇所によっては直営で実施し原材料代に抑えた。 ・掛合交流センターとの合築による総合センターの整備が進められ、平成29年度に建設工事が行われる。	・総合センター庁舎の利用については、空きスペースの有効活用を求める声がある。

事務事業名	掛合総合センター庁舎管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	自治振興課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 庁舎の老朽化が進み、今後修繕の箇所が多く発生することが見込まれる。しかし、地域の行政拠点としての役割から維持・管理が必要。会議室や施設、備品利用など住民利用環境の構築が市全体の制度として見直しが限りの向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 掛合総合センターは雲南省の南部の行政窓口拠点であり、周辺地域での行政サービスの公平性を保持するためにも庁舎維持は不可欠である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 他総合センター・市役所庁舎管理事業等の類似事業はあるが、統廃合・連携については本庁・総合センターとの有り方を検討する必要がある。しかしながら、地域の拠点である総合センター庁舎管理は使用部局で行うべきである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 掛合総合センター庁舎の維持管理に関して、主に警備委託費となるが、危機管理体制からすると代替機能が整備されない限り削減の余地は無いと考える。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 維持管理事務は最小限で行っている。清掃委託の廃止など事業費削減を行うが、直営業務は増加する。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 行政機関であり、一部の受益者に限定されるものではない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設老朽化が進み最低限の修繕を行うとともに、年間の気候が比較的安定していたことや、原油価格の値下がりにより光熱水費節減ができ、適切に運営できた。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
施設の老朽化が進行し、新たな庁舎建設の整備が進んでいく中、必要最低限の施設修繕の実施と光熱水費の削減により、施設を適切に維持管理していく。																								